

2019年3月

【管内情報】

稲 WCS^{※1} の高品質化を目指して連携会議を開催

当センターと南丹・中丹東・中丹西・丹後農業改良普及センターでは稲 WCS の高品質化を目指してタスクチーム^{※2}活動を行っています。3 月には畜産農家が求める稲 WCS を耕種農家が生産するため、中丹・南丹の2カ所で連携会議を開催し、畜産農家、WCS 用稲栽培農家や関係市町職員等の36名が参加しました。

会議では、6カ所のモデルほ場の稲の生育成績と稲 WCS の品質結果を報告し、その結果を基に作成した栽培ごよみにより WCS 用稲の栽培ポイントを説明しました。また、畜産農家からは「食用米並みのほ場管理」、「落水時期の徹底」「稲 WCS の水分低減」等の要望が出され、活発な意見交換が行われました。

今後も関係機関と連携し、高品質な稲の生産 WCS 拡大に向け、畜産センターは継続して活動していきます。

※1 稲 WCS : 葉・茎部分も含め稲全体を収穫して、密封し、乳酸発酵させた牛の餌

※2 タスクチーム: 研究機関と普及組織が連携して、モデルほ場の設置等の手法を用いて現地課題を早期に解決する活動



モデルほ場の結果報告と意見交換
(3月8日綾部市)

畜産センター